エコアクション21

環境活動レポート

期間　令和4年6月1日～令和5年5月31日

有限会社　小澤土木

作成　令和5年7月21日

目次

1.　事業活動の概要 …… 1

2.　対象範囲 …… 2

3.　環境方針 …… 3

4.　組織図及び実施体制 …… 4

5.　環境目標 …… 5

6.　環境活動計画 …… 6

7.　環境目標及び実績 …… 7

8.　環境実績の経年変化 …… 8

9.　環境活動計画の評価及び次年度の取組 …… 9

10.　環境関連法規への違反、訴訟等の有無 …… 10

11.　代表者による評価と見直し …… 11

1. 事業活動の概要

(1) 事業者及び代表者名

有限会社　小澤土木　　代表取締役　小澤吉明

(2) 所在地

〒436-0029
静岡県掛川市南2丁目23番1号

(3) 環境管理責任者　及び　担当者　連絡先

責任者　小澤吉明
担当者　小澤広子
連絡先　TEL　0537-22-2806　FAX　0537-23-3449
E-mail　o-yhrn10584@fmwbs.jp

(4) 事業内容

土木工事、とび・土工工事業
建設業許可番号
静岡県知事許可(般－1)第6451号
許可年月日　令和1年7月15日
有効期限　令和6年7月14日

産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業許可番号
静岡県知事許可　第02201160991号
許可年月日　令和3年7月26日
有効期限　令和8年7月25日
許可廃棄物　がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず、木くず

(5) 事業規模

資本金　300万円
会社創立　平成16年6月18日　（創業　昭和42年1月11日）

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
売上(百万円)	80	81	60	80
従業員(人)	7	7	8	7
床面積(㎡)	251	251	251	251

税抜き

6月1日起算、翌年5月31日決算

建設機械台数　4台
建設車両台数　2tダンプ　1台　4.5tトラック　1台
バン1台　軽バン1台　軽トラ1台

(6) 収集運搬車両一覧

施設名	形式	登録番号	規模・能力	備考
三菱	ダンプ	浜松400さ92-75	最大積載量2,000kg	会社所有
ニッサンUD	ダンプ	浜松100す39-45	最大積載量3,600kg	会社所有

(7) 収集運搬実績

がれき	686	t
木くず	1.1	t

(8) その他の施設

①資材置場
住所　静岡県掛川市南西郷1549
面積　1,400㎡

②工場・作業場
住所　静岡県掛川市南2丁目23番1号
面積　82㎡

2. 対象範囲

（1） 対象組織

① 有限会社 小澤土木 本社（静岡県掛川市南2丁目23番1号）

② 工場・作業場（静岡県掛川市南2丁目23番1号）

③ 資材置場（静岡県掛川市南西郷1549）

(8) 対象活動

土木工事業、とび・土工工事業及び産業廃棄物収集運搬業

３．環境方針

基本理念

有限会社小澤土木は、土木工事、公共下水工事を通じて地球環境にやさしい施工、環境に配慮した施工を心がけ環境の悪化を少しでも減らしていけるように全員で努力し未来に繋がるように環境活動に取り組みます。

行動指針

1　事業活動に伴う二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量について管理し削減に努めます。

2　資材、備品購入の際、グリーン購入を優先する。

3　現場作業による環境悪化への配慮を心がける。

4　産業廃棄物の適切な処理を行う。

5　環境関連の法律を遵守する。

6　全従業員に理解、努力、結果の徹底をはかる。

7　環境活動を社内外に公表し、地域との環境活動に協力する。

平成21年11月6日制定

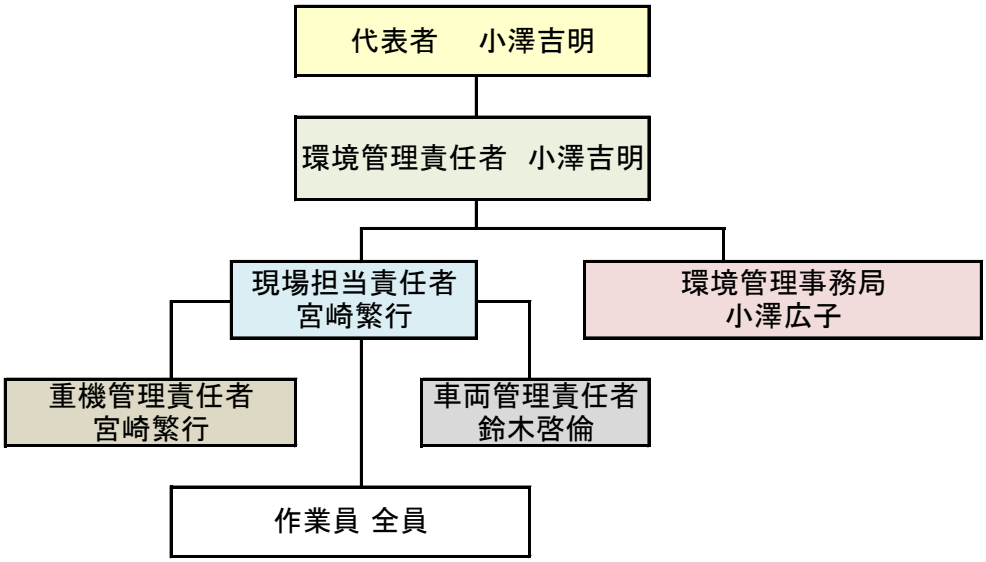
平成30年7月17日改正

静岡県掛川市南2丁目23番1号

有限会社　小澤土木

代表取締役　小澤　吉明

4. 組織図及び実施体制



役割、責任及び権限一覧

代表者 小澤吉明	・　環境管理責任者等を任命
	・　環境方針・行動指針の制定
	・　全体の見直し
	・　環境経営の構築。運営資金の調達
	・　教育訓練の計画・実施
	・　環境に配慮した施工の指示
	・　環境法令との照合
	・　経営における課題とチャンスの明確化
	・　実施体制の確立と全従業員への周知
	・　環境法令との照合
環境管理責任者 小澤吉明	・　システムの構築
	・　代表者に取組結果の報告
	・　教育訓練の計画
	・　問題の是正処置
現場担当責任者	・　環境方針の理解と取組の実施
	・　省資源・省エネの実行
	・　建設副産物の再利用
環境管理事務局	・　電気・水道使用管理
	・　エコマーク商品購入
	・　データー処理・記録
	・　レポート作成
	・　環境法令の照合
重機管理責任者	・　重機の管理
	・　重機整備
車両管理責任者	・　車両の燃費の管理
	・　車両整備

5. 環境目標

短期及び中長期目標

項目			単位	令和元年度～令和3年度の平均	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				基準年	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
二酸化炭素排出量			kg-CO_2	44,063	−1%	43,622	−1%	43,182	−1%	42,741	−1%	42,314	−1%	41,891
			kg-CO_2/百万円	586	−1%	580	−1%	574	−1%	568	−1%	563	−1%	557
購入電力量			kwh	11,023	−1%	10,913	−1%	10,803	−1%	10,692	−1%	10,582	−1%	10,472
灯油			ℓ	329	−1%	326	−1%	322	−1%	319	−1%	316	−1%	313
LPGガス			m^3	472	−1%	467	−1%	463	−1%	458	−1%	453	−1%	448
ガソリン			ℓ	1,307	−1%	1,294	−1%	1,281	−1%	1,268	−1%	1,255	−1%	1,242
軽油			ℓ	15,280	−1%	15,127	−1%	14,974	−1%	14,822	−1%	14,669	−1%	14,516
自らの事業活動による廃棄物排出量	一般廃棄物	発生量	トン	0.34	−1%	0.34	−1%	0.33	−1%	0.33	−1%	0.33	−1%	0.32
	産業廃棄物	発生量	トン	47.3	−1%	46.8	−1%	46.4	−1%	45.9	−1%	45.4	−1%	44.9
グリーン購入(文具) ［※印1］				―	購入するように努める									
グリーン購入(資材) ［※印1］				―	購入するように努める									
総排水量(※印2)			m^3	443	水量把握									

＜備考＞

1. 二酸化炭素排出係数は、0.431kg-CO_2/kwh(中電)を使用した。
2. ※印1：グリーン購入については、「購入するように努める。」とこを目標とする。
3. ※印2：総排水量については、数値的な目標を設定しなく、水量把握を目標とする。
4. 受託した産業廃棄物の適切な処理は、環境目標数値を制定しないが努力する。

6. 環境活動計画

(1)CO_2の削減

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	エアコンの設定温度(夏27度・冬26度)	小澤広子	事務局		夏27度	夏27度	夏27度			冬26度	冬26度	冬26度			
②	エアコンの定期保守			○					○						
③	扇風機の活用			○	○	○	○								
④	自然風の利用			○	○	○	○	○	○						
⑤	不要時の消灯(休憩・不在)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥	パソコンの省エネモード			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦	OA機器等のこまめなOFF			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧	温水の節約								○	○	○	○	○		
⑨	温度の調整			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑩	暖房器具の温度節約(20度)									○	○	○			
⑪	整備・点検の徹底(オイル・フィルター)	宮崎繁行	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑫	適正な材料の積みこみ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑬	アイドリングストップ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑭	必要な物の確認			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑮	計画的なルートで行動			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑯	エコ運転(空ふかし・低速走行)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(2)廃棄物削減

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	分別の徹底	小澤広子	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	置場所表示の徹底			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	社内リサイクル			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④	コピーミスの防止			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤	裏面活用のコピー			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥	排出物の区別			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑦	端材の活用	小澤吉明	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑧	木くずのリサイクル			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(3)水使用量削減

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	節水の表示	小澤広子	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	蛇口の節水(節水コマ)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	水漏れチェック				○		○		○		○		○		○
④	トイレの節水(タンク・音姫)		全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤	雨水・河川の利用			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(4)グリーン購入

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	再生資材の利用	小澤吉明	現場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	備品等のグリーン購入優先	小澤広子	事務局	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(5)環境教育

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	伝達・実施・訓練	小澤吉明	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	車の管理・現場でのエコ活動			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	草取り・清掃活動に協力					○	○			○					○
④	小中学校での古紙回収活動に協力	小澤広子		○				○				○			

(6)現場作業による環境への配慮

	取組内容	責任者	担当	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
①	騒音・振動への配慮	小澤吉明	全員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	作業範囲の樹木への配慮			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③	ほこり発生への配慮			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

7. 環境実績結果

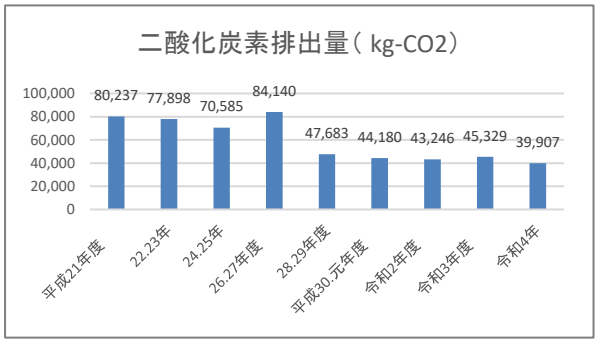
環境目標及び実績

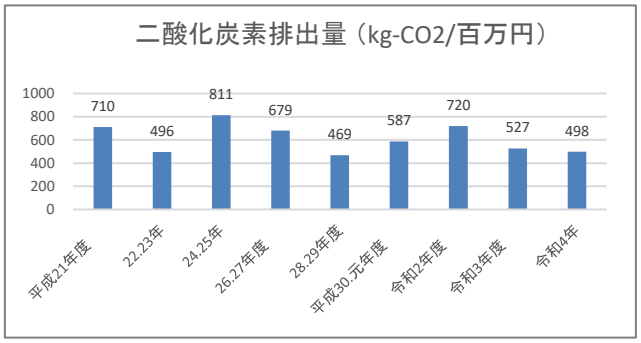
項目			単位	令和元年～令和3年の3ヶ年の平均	令和4年6月～令和5年5月			
				基準値	削減目標	目標値	実績値	評価
二酸化炭素排出量			kg-CO_2	44,063	−1%	43,622	39,907	○
kg-CO_2/百万円				586	−1%	580	453	○
購入電力量			kwh	11,023	−1%	10,913	10,759	○
灯油			ℓ	329	−1%	326	619	×
LPGガス			m^3	472	−1%	467	276	○
ガソリン			ℓ	1,307	−1%	1,294	538	○
軽油			ℓ	15,280	−1%	15,127	12,267	○
自らの事業活動による廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	発生量	トン	0.34	−1%	0.34	0.18	○
	産業廃棄物排出量	発生量	トン	47.3	−1%	46.8	82.5	×
グリーン購入(文具) ［※印1］				―	購入するように努める		努めた	○
グリーン購入(資材) ［※印1］				―	購入するように努める		努めた	○
総排水量(※印2)			m^3	443	水量把握		472	×
現場作業による環境への配慮				―	推進する		推進した	○

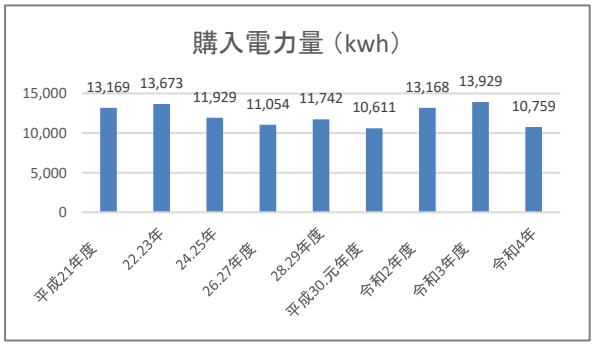
＜備考＞

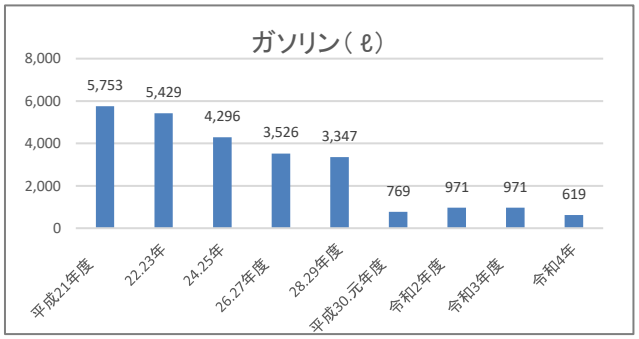
1. 二酸化炭素排出係数は、0.431kg-CO_2/kwh(中電)を使用した。
2. ※印1：グリーン購入については、「購入するように努める。」とこを目標とする。
3. ※印2：総排水量については、数値的な目標を設定しなく、水量把握を目標とする。
4. 評価→○印：達成又は実施　△印：ほぼ達成　×印：達成できず

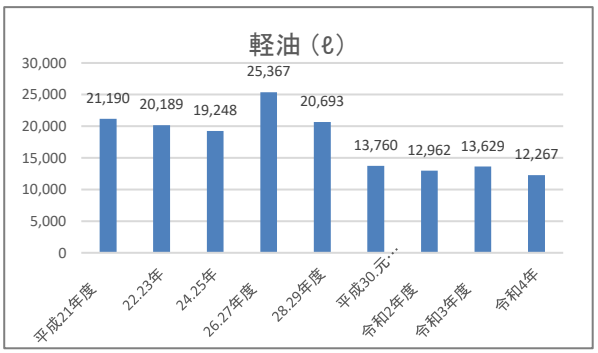
8. 環境実績の経年変化

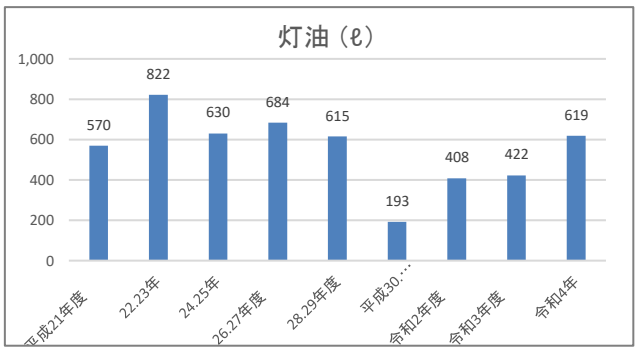

二酸化炭素排出量（ kg-CO2）
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
80,237
77,898
70,585
84,140
47,683
44,180
43,246
45,329
39,907
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年

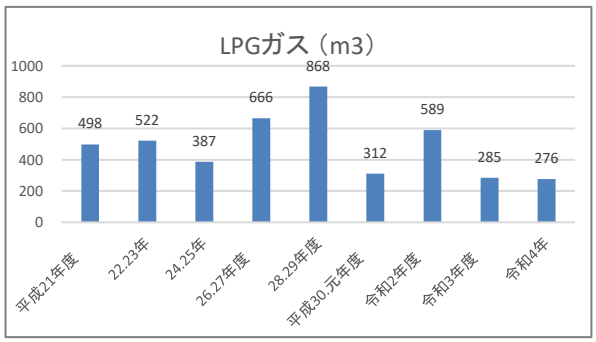

二酸化炭素排出量（kg-CO2/百万円）
1000
800
600
400
200
0
710
496
811
679
469
587
720
527
498
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年

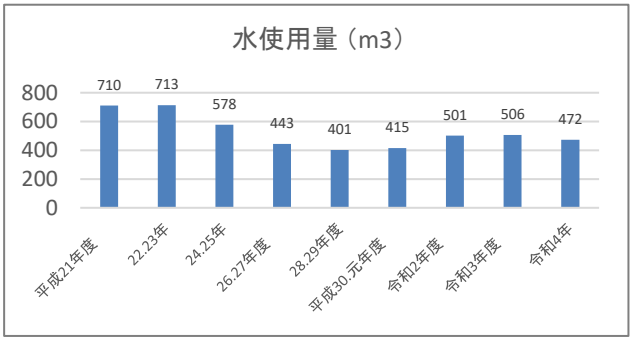

購入電力量（kwh）
15,000
10,000
5,000
0
13,169
13,673
11,929
11,054
11,742
10,611
13,168
13,929
10,759
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年

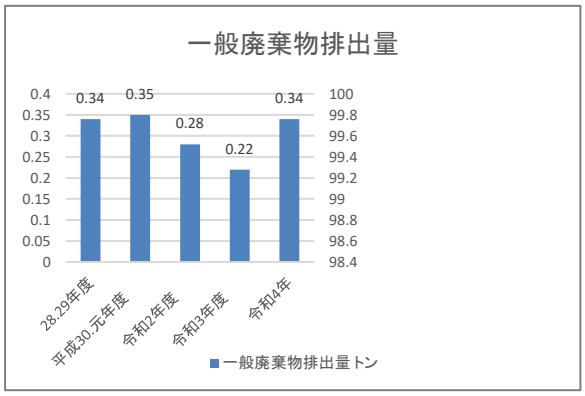

ガソリン（ℓ）
8,000
6,000
4,000
2,000
0
5,753
5,429
4,296
3,526
3,347
769
971
971
619
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年

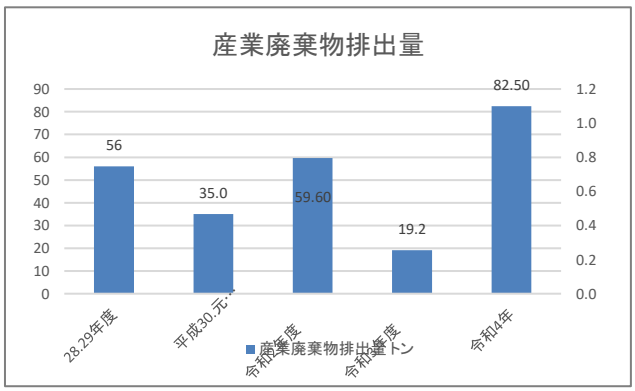

軽油（ℓ）
30,000
25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
21,190
20,189
19,248
25,367
20,693
13,760
12,962
13,629
12,267
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
令和2年度
令和3年度
令和4年


灯油（ℓ）
1,000
800
600
400
200
0
570
822
630
684
615
193
408
422
619
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
令和2年度
令和3年度
令和4年


LPGガス（m3）
1000
800
600
400
200
0
498
522
387
666
868
312
589
285
276
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年


水使用量（m3）
800
600
400
200
0
710
713
578
443
401
415
501
506
472
平成21年度
22.23年
24.25年
26.27年度
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年


一般廃棄物排出量
0.4
0.35
0.3
0.25
0.2
0.15
0.1
0.05
0
100
99.8
99.6
99.4
99.2
99
98.8
98.6
98.4
0.34
0.35
0.28
0.22
0.34
28.29年度
平成30.元年度
令和2年度
令和3年度
令和4年
一般廃棄物排出量トン


産業廃棄物排出量
90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
1.2
1.0
0.8
0.6
0.4
0.2
0.0
56
35.0
59.60
19.2
82.50
28.29年度
令和4年
産業廃棄物排出量トン

9. 環境活動計画の評価及び次年度の取組

(1)CO_2の削減

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	エアコンの設定温度(夏27度・冬26度)	7.8.9　12.1.2	○	温度を明記して守った	服装・扇風機での調整に心がける
②	エアコンの定期保守	6.11	○	点検出来た	月を決め点検する
③	扇風機の活用	6～9	○	設定温度を守り扇風機を活用出来た	扇風機の活用
④	自然風の利用	6～11	○	風のある時はエアコンを切り活用出来た	自然風を取り入れる
⑤	不要時の消灯(休憩・不在)	通年	○	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑥	パソコンの省エネモード	通年	△	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑦	OA機器等のこまめなOFF	通年	△	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑧	温水の節約	11～3	○	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑨	温度の調整	通年	○	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑩	暖房器具の温度節約(20度)	12～2	△	明記して気をつけるように努力した	忘れないようにする
⑪	整備・点検の徹底(オイル・フィルター)	通年	○	気がついた時に、点検するようにした	気がついた時に点検する
⑫	適正な材料の積みこみ	通年	○	気をつけるように努力した	気をつけるように努力する
⑬	アイドリングストップ	通年	○	周知徹底に教育した	声かけをする
⑭	必要な物の確認	通年	○	気をつけるように努力した	声かけをする
⑮	計画的なルートで行動	通年	○	最善のルートを確認した	最善のルートを確認する
⑯	エコ運転(空ふかし・低速走行)	通年	○	周知徹底に教育した	声かけをする

(2)廃棄物削減

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	分別の徹底	通年	○	出来た	分別する
②	置場所表示の徹底	通年	○	表示した	表示する
③	社内リサイクル	通年	○	リサイクルできた	リサイクルする
④	コピーミスの防止	通年	△	時々ミスが生じた	確認の徹底
⑤	裏面活用のコピー	通年	○	活用出来た	活用後リサイクルに回す
⑥	排出物の区別	通年	○	出来た	区別を必ずする
⑦	端材の活用	通年	○	分別して活用処分出来た	分別して処分する
⑧	木くずのリサイクル	通年	○	活用出来た	活用できない木などは、ストーブの焚きつけに利用

(3)水使用量削減

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	節水の表示	通年	○	明記した	明記する
②	蛇口の節水(節水コマ)	通年		コマの活用は、出来ていない	節水できるほどではないので、中止とする
③	水漏れチェック	検査時	○	水道量確認の時にやってもらった	水道量確認の時にやってもらう
④	トイレの節水(タンク・音姫)	通年	○	音姫の取付をした	小の方で流す
⑤	雨水・河川の利用	通年	△	雨水をためるタンクの設置	タンクの水の活用

(4)グリーン購入

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	再生資材の利用	通年	△	再生資材の活用が出来た	再生資材の活用を優先する
②	備品等のグリーン購入優先	通年	○	グリーン購入を優先出来た	グリーン購入を優先する

(5)環境教育

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	伝達・実施・訓練	通年	△	少しずつ、教育出来た	定期的な教育をする
②	車の管理・現場でのエコ活動	通年	○	管理出来た	今後も管理・活動にはげむ
③	草取り・清掃活動に協力	8.9.12.5	○	協力出来た	活動に協力する
④	小中学校での古紙回収活動に協力	6.9.10.2	○	協力出来た	活動に協力する

(6)現場作業による環境への配慮

	取組内容	月	結果	評価	次年度の取組内容
①	騒音・振動への配慮	通年	○	配慮が出来た	苦情のこないように配慮する
②	作業範囲の樹木への配慮	通年	○	配慮が出来た	樹木への配慮をする
③	ほこり発生への配慮	通年	○	配慮が出来た	ほこりの舞いそうな時は、水をまく

(備考)評価→○印:実行できた　△印:推進中　×印:達成できず

10. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

確認日：令和5年7月21日

区分		NO	法令等名	条文	適用される要求事項		確認者	遵守状況
有限会社小澤土木として遵守する法律等		1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第12条第1項	自らその産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合の産業廃棄物の収集、運搬基準の遵守		小澤広子	遵守
				第12条第2項	生活環境の保全上支障のないように産業廃棄物の保管			
					・保管基準			
					60cm×60cm以上表示、			
					飛散・浸透防止			
				第12条第5項	産業廃棄物収集運搬及び処分許可業者への委託			
				第12条第6項	産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守 ・契約書締結、許認可証写し入手			
				第12条第7項	産業廃棄物の処理の状況に関する現地確認 ・産業廃棄物の処理を委託する場合			
				第12条の3第1項	産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合のマニフェストの交付 ・マニフェスト交付			
				第12条の3第2項	管理票交付者のマニフェストの保管 ・A、B2、D、E票の保管（5年間）			
				第14条第1項	産業廃棄物の収集運搬業の許可			
				第14条第12項	産業廃棄物収集運搬業者の産業廃棄物処理基準の順守			
		2	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	建設業者の責務（建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の低減、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用）	分別の励行、リサイクルの推進	小澤広子	遵守
				第9条	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施	解体工事-80㎡以上 新築・増築工事-500㎡以上 その他の工作物に関する工事（土木工事等ー500万円以上）		
				第10条	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出	発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに県知事に届出書を提出		
		3	建設業法	第3条の1	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請		小澤広子	遵守
				第25条第1項	主任技術者の設置			
				第25条第2項	管理技術者の設置			
		4	排ガス規制・オフロード法（特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律）	第4条	事業者及び使用者の責務 ・特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制のため必要な措置の実施、国が実施する特定特殊自動車排出ガスによる大気の汚染の防止に関する施策への協力		小澤広子	遵守
		5	労働安全衛生法	第25条の2	建設業等における爆発、火災等が生じたことに伴い労働者の救護に関する措置がとられる場合における労働災害の発生を防止		小澤広子	遵守
				第29条の2	建設業等における土砂等が崩壊するおそれのある場所、機械等が転倒するおそれのある場所等の作業を行う時の危険を防止するため適正措置の実施			
		6	下水道法	第10条	排水設備の設置等		小澤広子	遵守
				第11条の2	下水道の使用の開始等の届出	使用開始30日後		
				第12条	除害施設の設置等	下水へ排除している全ての事業所排水		
	静岡県条例	7	静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例	第8条	事業者の産業廃棄物管理責任者の設置		小澤広子	遵守
				第10条	事業者の産業廃棄物の実地の確認等			
		8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	第21条	産業廃棄物又は特別産業廃棄物の運搬実績の報告		小澤広子	遵守
	掛川市条例	9	掛川市公共下水道条例	第13条	除害施設の設置：下水の排除基準の順守	下水へ排除している全ての事業所排水	小澤広子	遵守
		10	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	第5条	自動車所有者の責務		小澤広子	遵守
				第8条	使用済自動車の引渡義務 ・使用済自動車を引取業者に引渡す義務			
				第72条	再資源化預託金等の預託義務 ・再資源化等料金を資金管理法人に預託しておく義務			
		11	使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	第8条	使用済自動車の引渡義務 ・ 使用済みとなった自動車の引取業者（自動車販売業者・整備業者等）への引渡し ・ リサイクル料金の負担（新車購入時又は既存の車は法施行後最初の車検時）		小澤広子	遵守
		12	資源有効促進利用に関する法律（リサイクル法）	第4条	事業者等の責務 ・事業又は建設工事の発注を行うに際して原材料等の使用の合理化を行うとともに、再生資源及び再生部品を利用するよう努める ・製品が長期間使用されることを促進するように努める ・使用済の製品、副産物等の再利用、再生資源・再生部品としての利用を促進するよう努める ・パソコンの適正な排出、メーカー等への引渡しと費用の支払。		小澤広子	遵守
		13	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第18条の2	第1種特定製品整備者の引渡義務等	第1種特定製品整備者による第1種フロン類回収業者へのフロン回収委託処理	小澤広子	遵守
				第19条	第1種特定製品廃棄等実施者の引渡義務	第1種特定製品廃棄等実施者の第1種フロン類回収業者へのフロン類の引渡し		
					第1種特定製品の使用者の点検義務			
		14	国等による環境物品等の推進に関する法律(グリーン購入法）	第5条	事業者は、物品を購入し、若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合には、できる限り環境物品等を選択するよう努める。		小澤広子	遵守
	静岡県条例	15	静岡県環境基本条例	第6条	事業者の責務 ・環境への負荷への低減公害防止、自然環境保全に必要な措置を取る		小澤広子	遵守
	掛川市条例	16	掛川市環境基本条例	第6条	事業者の責務 ・事業活動に伴う公害の防止及び環境への負荷の低減、循環型社会の構築及び自然環境の保全と再生等の積極的な取組 ・市が実施する環境の保全と創造に関する施策に協力する責務		小澤広子	遵守
		17	掛川市良好な生活環境の確保に関する条例	第5条	事業者の責務 ・市が実施する良好な生活環境の確保に関する施策への協力等		小澤広子	遵守

【環境関連法規の遵守及び違反の有無】
環境法規制の遵守活動を行い、その評価を行った結果、環境関連法規制への違反はありません。
【指摘・訴訟の有無】
過去3年間の環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありません。また、周辺樹民からの苦情もなく、訴訟についてもありません。

11. 代表者による評価と見直し

環境項目	まとめと反省
①CO2の削減	削減目標は、達成できた。社用車の相乗りでの行動もできた。 重機・車両の点検整備は、定期的に行っていきたい。 灯油の量が削減できていないので厚着等で寒さ対策を行う
②廃棄物削減	廃棄物も削減できました。工事現場の数の減少も影響している。一般の分別はできているので、これからも努力を続けたい。
③水使用量削減	下水工事用のウエス等の洗濯用を全自動に交換した。水道の締め忘れがなくなってよかった。雨水のタンクも設置できた。その割に数量が増えた原因を調べてみたい
④グリーン購入	購入備品をエコマークのあるものを購入している。購入することが、少なかったがエコ商品は、購入を続ける。
⑤環境教育、環境保全活動	社内教育は、これからも継続し、全員が、環境への取り組みに進んでいけるように努めたい。

今回も、二酸化炭素排出量、軽油、LPGガス、廃棄物排出量が目標数値を超えることなく達成できてよかったです。 灯油の数量の増加は原因がよくわからないが、これから気を付けて使うようにしたい。
水道量はこれから特にきをつけてやりたい。
このまま環境方針・環境目標・環境活動計画等の変更はせずに、進めていきたいと思います。ほぼ横ばい状態なので、削減できることを考えていきたい。

令和5年7月21日

有限会社　小澤土木

代表取締役社長　小澤　吉明